



子どもから大人までが真剣な表情で絵筆を握り、花巻人形の絵付けを体験しました

花巻人形の絵付けに挑戦
「花巻人形絵付け体験」が3月23日、花巻市博物館で開かれました。同体験は、ひな祭りシーズンに合わせて毎年開催しているテーマ展「花巻人形展」の関連行事。子どもから大人まで20人が参加し、ここのしのことであるへびのほかわさぎやタツの人形に赤や青、緑、黄など鮮やかな色の顔料を塗り絵付けに挑戦しました。見本に忠実に模様を描き込む人や、独自の色を施す人などさまざま。参加者の皆さんは、上手に絵筆を使い、自分だけの花巻人形を仕上げていました。



たくさんの共演者と共に、演奏を披露する金星少年少女オーケストラの子どもたち。観客から盛大な拍手が送られました

響き渡る管弦楽の調べ
音楽の力で東日本大震災からの復興を支えようと、おとし9月に設立した金星少年少女オーケストラ。その2回目となるコンサートが3月23日、石鳥谷生涯学習会館で開催されました。子どもたちは、アジア各国から寄贈された楽器を手に、日ごろの練習の成果を披露。「奥州ジュニアオーケストラスクール」や「ウイーン・フィルハーモニー管弦楽団」のメンバーなどと共にクラシックなどの重厚な調べを奏で、訪れたたくさんの観客を魅了していました。



関係者の皆さんがテープカットで全線開通を祝った笹間バイパスの開通式

待望の笹間バイパス全線開通
主要地方道盛岡和賀線笹間バイパスが3月27日、全線開通しました。同路線は交通量の増大に伴い平成14年度から急カーブなどを解消する工事が行われていたものです。この日は、新しい上根子橋の北側で開通式を開催。沿線住民や関係者など約150人が出席し、テープカットやくす玉割り、3世代夫婦の渡り初めなどで待望の開通を祝いました。今回の開通により、安全で円滑な交通の確保はもとより、物流の効率化や産業振興への大きな効果が期待されます。



市長を囲み、全国大会への意気込みを見せる矢沢小学校の子どもたち

矢沢小 全国大会での健闘誓う
10人以上が一緒に縄跳びをする「ロープジャンプ」小学生No.1決定戦に初出場する矢沢小学校6年生(当時)が3月22日、市役所を訪れました。子どもたちは1月の東北大会で1位に輝き全国大会への切符を獲得。大会を前に、「応援してくれた人にいい報告がしたい」「一致団結して力を出し切りたい」と力を込めました。3月24日に行われた大会では、惜しくも目標のベスト8には届かなかったものの、東北の代表として健闘しました。



南部杜氏の技が生み出した新酒の味と香りを、一点一点確かめる審査員

南部杜氏 新酒の出来栄え競う
第94回南部杜氏自醸清酒鑑評会(南部杜氏協会主催)が4月2日から5日までの4日間、石鳥谷町中寺林の南部杜氏会館で開かれました。南部杜氏が手掛けた新酒の出来栄えを競う同鑑評会には、全国160の蔵元から725点が出品され、審査員が一点ずつ味や香りを確認。審査長代理の県工業技術センター 特命部長は、「こうじのうま味をうまく乗せている」と全体を評価しました。表彰式は、5月24日、石鳥谷生涯学習会館で行われます。



各地自慢の鍋料理を味わいながら、出店者との交流を深める来場者の皆さん

復興支援の店 1周年祝う
「三陸と日本海のかけはし交流産直館・結海(ゆうみ)」の1周年感謝祭が3月24日、西宮野目の観光物産レストラン「金婚亭」の敷地内で開かれました。東日本大震災をきっかけとして大槌町と秋田県五城目町の交流から生まれた同館。当日は、大槌町の「さけ鍋」や五城目町の「だまこ鍋」、花巻市石鳥谷町の「南部鍋」など8種類の鍋料理が勢ぞろい。詰め掛けた多くの来場者は、出店者との会話を楽しみながら、復興支援への気持ちを新たにしていきました。